マツ



マツは、庭や公園などに植えられている樹木です。また、代表的な品種のアカマツやクロマツは、山や海岸沿いに生えています。なお、マツは(|)です。

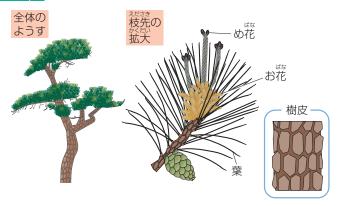
植物図鑑ドリル問題 17

マツは日本では昔からえんぎのよいものであるとされ,正月にかざる門松などに使われます。



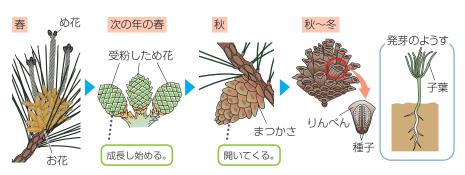
葉や樹皮のようす

マツは、特ちょう 的な(2)のような 形の葉をつけます。 また、樹皮は大きな (3)のような模様を しています。



成長のようす 🌱

マツは(4)です。(5)になると花をさかせます。受粉しため花は、次の年の春になると成長を始め、(6)には熟します。冬にはまつかさが開いて、種子が風に飛ばされます。マツの種子は発芽するとき、子葉が(7)出ます。



花のつくり

マツは(8)と(9)の2種類の花をさかせます。

「はいしゅ

「お花

「おんぺん

「お花

「お花

「お花

「おんぺん

「お花

「おんぺん

「おんぱん

「おんぱん

「おんぱん

「おんぱん

「おんぱん

「おんぱん

「おんぱん

「おんぱん

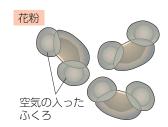
「おんぱん

「おん

「おんぱん

「おんぱん

受粉の仕方



サプラスタシ

マツの花などの風ばい花の花粉は、風に飛ばされやすいように小さくて軽く、さらさらしているものが多くなっています。 愛に、 気はい花の花粉は、昆虫のからだにつきやすいように、ねばねばしていたりとげや毛が生えていたりすることがあります。

+793299

マツやスギ、ヒノキ、ブナ、シイ、カシは樹高が高く、森林の中では高木の層に見られます。それより低く、暗い場所でも生育できるアオキやヤツデ、アジサイなどが低木の層に、ササやコケ 植物、シダ植物が下草の層に見られます。

イチョウ



イチョウは、街路樹として道沿いによく植えられている樹木です。秋になると美しく(||)します。

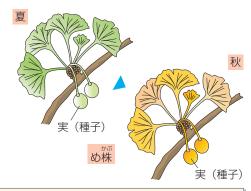
イチョウの葉(ただし、イチョウの実は子ぼうが成長したものではなく、種子です)は「ギンナン」とよばれます。(|2)に収かくされ、食用とされます。



成長のようす 🌱

イチョウは (13) です。春になる と花をさかせます。秋には種子が 熟して落ちます。

また、秋になると(|4)し、やがて落ちます。



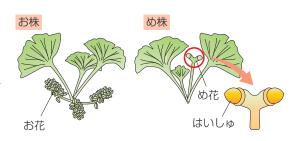
+*5*/5/202

イチョウの葉は、おうぎ形をしています。葉脈は | 本が2つに分かれていて、被子植物の双子葉類のようにあみ自状でもなく、単子葉類のように平行でもありません。



花のつくり →

イチョウは、お花だけをつける(|5)と、め花だけをつける(|6)に分かれています。そのため、(|7)にだけ種子ができます。



スギ



スギは、本州から九州の山に生 えている(18)です。材木として利用 されるため、さかんに植林されてい ます。

スギの花は風に花粉を運んでもらう(19)です。(20)から(21)にかけて開花し、花粉をたくさん飛ばします。





サプラスタツ

スギやヒノキの花粉は、花粉などの原因とされます。花粉症では、目のかゆみやくしゃみ、鼻水、せきが止まらなくなるなどの症状が出ます。

ノナ



ヒノキは、本州 (北のほうの地域 をのぞく)から九州 の山に生えている (22)です。 対木として利用されるため、さかんに植林されています。なお、ヒノキは (23)です。

ヒノキの花は風に花粉を選んでもらう (24) です。春ごろ開花し、花粉をたくさん飛ばします。



4777792

マツやスギ、ヒノキなどのように、先がとがった形の葉をつける樹木を「針葉樹」といいます。針葉樹にはほかにモミなどがあります。